

## 令和4年度 大阪府立交野支援学校四條畷校 第2回学校運営協議会 報告

1. 日時・場所	令和4年11月8日(火)午前10時00分から12時00分・交野支援学校四條畷校会議室	
2. 出席者	<b>【学校協議会委員】</b>	
	高塚 良則	元大阪府立学校長
	坪井 安嗣	四條畷市砂自治会長
	杉本 匡子	(社)るうてるホーム軽費事業部長
	加藤 美朗	関西福祉科学大学教授 (欠席)
	北口 信二	北河内東障害者就業・生活支援センター長
	坂田 雅子	大阪府立交野支援学校四條畷校 PTA 会長
	<b>【事務局】</b>	
	武田 幸造	准校長
	溝部 晃輔	教頭
	目良 孝	課長補佐
	筒井 大輔	中学部主事
	村上 智則	首席・高等部主事
	傍聴希望者募らず (新型コロナウイルス感染症予防のため)	
3. 次第	<p>(1)准校長あいさつ</p> <p>(2)授業見学(初任者 高等部:水津(清掃喫茶)、本田(音楽)、中学部:風呂(国語))</p> <p>(2)新型コロナウイルス感染症にかかる対策等の報告について</p> <p>(3)令和4年度学校経営計画及び学校評価 進捗状況について</p> <p>(4)学校教育自己診断アンケートについて</p> <p>(5)その他</p>	
4. 報告	<p><b>新型コロナウイルス感染症にかかる対策等の報告について</b></p> <p>今年度の本校の感染状況と、国・府の通知に合わせ、陽性者と濃厚接触者の療養期間と待機期間を変更したことを准校長より説明。「コロナ予算」で各教室に水道施設が整備されたことやスクールサポートスタッフなどの人員配置も行っていること、体育祭、学習発表会など学校行事では、しっかりと感染対策を行いつつ、観覧方法の緩和を進めていくことを伝えた。</p>	
	<p><b>「令和4年度学校経営計画及び学校評価」進捗状況について</b></p> <p>1「コミュニケーション力」や「自ら考えて行動する力」を伸ばす</p> <p>2「安全・安心のための校内体制の構築」</p> <p>3「教員の専門性と指導力の向上」</p> <p>4「開かれた学校作り」「センター的機能の発揮」</p> <p>5「組織づくり」の重点項目ごとに進捗状況 <span style="float: right;">を准校長より説明。</span></p> <p>1 高等部の職業科目として「清掃・喫茶」を新設。受講生は清掃検定の対象となる。地域連携による清掃活動として岡部小学校4回、砂公民館3回、忍陵神社1回の清掃を行った。公民館では野菜の販売も行っている。地域の人と顔見知りになり、通学途中に声をかけてもらえることもあった。PTA の清掃活動で、クリーンコースの生徒が保護者に清掃方法をレクチャーした。斬新な取り組みとして好評を得た。</p>	

2 人権研修と、生徒の心身の健康にかかる研修を実施。人権研修では、これからの生徒指導の在り方とは、教員と生徒が「指導する」「指導される」という関係性から「課題を一緒に乗り越えましょう」という関係性を構築していかなければならないということを共有。生徒の心身の健康にかかる研修では、臨床心理士の奥村先生に「心の相談の事例から学ぶ」というところで講義と演習をしていただいた。12月22日には梅花女子大学の閑喜教授による「困り事のある子どもの理解と支援」と題した講義をいただく予定。

3 今年度4月から授業力向上チームの取り組みがスタート。初任者の7人に加え、チームメンバーも研究授業、研究協議を行い、授業を見合い、授業について検証し合うという雰囲気醸成することを狙いに取り組んでいる。

4 リーディングスタッフの動き、コーディネーターの動きについては、今年度、支援学級担当者向けの研修を9月に行うことができた。2つめの新たな取り組みとして、四條畷市立の田原中学校を会場に事例検討会を実施した

5 課題解決型のプロジェクトチームとして、キャリアPTと授業力向上PTを設定。学部・分掌をこえたメンバー構成をしており、機動的に動いている。支援・研究部を中心に「個別の指導計画」の様式について検討を始めている。新学習指導要領に示された評価の3観点（「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」）を落とし込んだ新様式の提案をめざしている。府の働き方改革への取り組みとして、アラームメールが始まった。時間外勤務が30時間を超える教職員には、超えるというメールが月に何回か届き注意喚起をしていく。また、注意するだけでなく、何に困っているのか相談に乗りながらやっていかなければいけないと思っている。

#### 学校教育自己診断アンケートについて

実施スケジュール・変更項目等を教頭より説明。昨年度と大きな変更はなし。保護者用・生徒用・教員用それぞれに、1人1台端末についての質問を加えた。生徒用の質問項目で抽象的、またはわかりにくい表現があるので、平易な言葉に変えることを確認した。保護者用の地震、台風などの緊急対応、大災害時の防災の項目の中に、感染症対策についても文言の追加も検討する。

#### その他

初任者の授業を見学。

高等部：水津先生（清掃・喫茶）

⇒ 中学部：風呂先生（国語）

⇒ 高等部：本田先生（音楽）

#### 委員からの意見

高塚会長から、キャリア教育の清掃活動で、PTAと一緒に活動したことは非常に面白い取り組み。野菜の販売も、地域の人と一緒に取り組み、活動を広げていくことで、子どもたちが地域に理解をしてもらえ、子どもたちの自立が進んでいくことに繋がっていくと思うとのこと。リーディングスタッフが地域の支援学級、通級指導教室への研修も始めたことも、地域の方に障がいを理解してもらおう点で、非常に大切なことだとおっしゃられていた。授業については、ICTのモニターを活用することは、視覚支援で非常に子どもたちにも分かりやすい。モニターを使いつつ教員が手作りした教材など、工夫をしたものが出せるか否かが大切であるとのことご意見をいただいた。

北口委員から。キャリア教育で生徒さんが、親御さんに教えることは、理解を深める意味ですごくいい取り組み。学校や事業所でやったことが、企業の中でなかなか生かせないことがある。(他人に)教えることで、自分の理解を深めることがすごく大事だと思ったとのご意見をいただいた。また、進路に関わる情報提供があった。厚労省が就労選択支援事業というものを検討中。A型、B型の就労継続支援事業所を選択する生徒を対象に、就労に関するアセスメントを取る機関を福祉サービス化する予定。今後(2年後をめぐり)は、支援学校から就労継続支援事業所に行く場合は、その事業を通してから行くことになる。

坪井委員から、高等部の選択職業の授業で行っている、砂公民館での野菜の販売についてご意見をいただいた。回を重ねるたびにお客さんが増え、生徒さんも慣れてきて、お客さんへの声かけもできているとのこと。また別の機会に、授業を通して顔なじみになった生徒がご自身の家の前を通っていた時に挨拶をしたとのことだった。

杉本委員からは、ホームページがリニューアルされていて、内容が充実されてきているとお言葉をいただいた。准校長先生のブログ「おいしい給食」など、学校を近く感じてもらえるのではないかと感じているとのこと。授業見学に対する感想は、動画を撮影して、実際見せるなどICTをうまく活用し、学校教育の中で細やかな対応ができていると感じたとのことだった。

坂田委員からは、3年ぶりのPTA清掃活動をクリーンコースの生徒とコラボして行ったことを報告していただいた。人数は20人に達しなかったが、自在帚の持ち方や使い方を細かく丁寧に教えてもらえたとのこと。卒業後の仕事にも生かせるということで、とても真面目に取り組んでおり、その姿勢に共感、感動したとのことだった。すごく楽しい時間だったので、ぜひ来年もと希望している。

#### **その他**

第3回学校運営協議会 令和5年2月(仮)  
詳細な日程については後日調整の上決定。